

学校で心配なこと

大谷さんからのメッセージ



学校で心配なこと

学校の中で心配になりそうなことは、階段や段差があると車いすで行けません。スロープ（坂）があれば行けますが、もしなければ、皆さんにお手伝いしてもらえと行けないところも行けるようになります。

車いすで移動するには広めのスペースが必要です。教室も机と机の間隔が広くないと車いすで通ることが難しいです。トイレも広くないと入れません。手すりがないと便座に座ることも難しいです。

車いすに乗っていても皆さんと一緒に勉強したり、給食を食べたり、遊んだりして一緒に学校で過ごしたいのです。皆さんとも心のバリアがないように、障がいの有無に関係なくお互いが思いやることで、心配が安心に変わり学校で楽しく過ごせるようになります。

大谷さんからのメッセージ

人には得意なこと・苦手なことがあります。皆さんも苦手なことは誰かに手伝ってもらえたらできますよね？
障がいがある人は、苦手なことが人より多いだけです。障がいがあっても得意なことはあります。私はパソコンが得意なので人に教えることがあります。障がいがあっても誰かの助けにもなれるのです。

人は誰も一人では生きていけません。それは皆さんも同じだと思います。
障がいの有無は関係なく、人はみんな、お互いに助け合いながら生きています。

私の好きな言葉があります。「どう生まれてきたかじゃなく、どう生きるか」

歩けなくても、手が使えなくても、楽しいことや何かに挑戦することだってもちろんできます。

だから、障がいがあっても不幸だと思っていません。私は幸せです。幸せかどうかは自分で決めることです。

特別なことは言いません。皆さんと同じように生きていきたいだけなのです。

また、人間の究極の幸せは四つあると考えています。

- 1 人に愛されること
- 2 人に褒められること
- 3 人の役に立つこと
- 4 人から必要とされること

子どもでも、大人になっても、障がいがあってもなくても、誰にとってもこの幸せは変わらないものと思います。

最後に一つお願いがあります。障がいがある人でも、ない人でも、周りの友だちでも家族でも良いです。

困っている人を見かけたら、一言、声をかけてあげてください。反対に、自分が困ったら周りに助けを求めたって良いのです。

お互いがお互いを思いやり、支え合える、それができると誰もが暮らしやすい世の中になると思いませんか？